



二葉とこども

第16号

発行元：社会福祉法人 二葉保育園「二葉支援の会」

発行日：2013年12月1日

いま、求められている家族支援・地域支援のために



最も大事な家族支援・地域支援

大都市東京の地において、核家族化等の影響もあり地域や家族や職場から孤立している家族が多く、子どもを産んでも安心して育てる環境が整っておらず、少子化にもかかわらず保育所が足りずに待機児童が多いこと。また、乳児院や児童養護施設が常に満員状況がますます続いているのが現状です。

前号においても書かせていただきましたが、「二葉」という法人は100年以上前から、「子ども福祉」を事業の中心に置きながらも、必要によっては母親やお年寄りや地域の家族の支援を行ってきた歴史があります。今は、母子生活支援施設の運営は止めていますが、保育園、乳児院、地域子育て支援センター、児童養護施設の運営を行っています。これらの事業を続けていて実感することは、今最も必要な事業は「家族支援」と「地域支援」ということです。



子どもにとって親の存在とは

子どもの育ちにとって親の存在はとても大きいものです。いや幼少の子どもたちにとって親の存在は絶対的なものです。ともすると近年私たちの仕事を通じて、親が子どもを養育する基盤が弱まってきていることを実感することがよくあります。子育てにおいて親の責任だけを追及することは難しいものがありますし、社会的または環境的な課題もあります。親に「がんばろう!」、「私たちと一緒に子どもを見ていきましょう!」と励ましなが、親を支えなが、子どもの成長を見守っていくことが必要です。

そういう状況もあり、二葉の児童福祉の中心に「家族支援」や「地域支援」をおき、進めて行きたいと決意を新たにしているところです。それぞれの施設で「家族支援」、「地域支援」について、来年度から法人全体としても進めるための検討を今年から開始しました。



改築プロジェクト支援への感謝

おかげさまで、今年10月に二葉学園の建物が完成しました。11月2日に地域の仮園舎に住んでいた子どもたちも一年ぶりに新しい園舎へ戻ってきました。園児の生き生きとして明るい笑顔に接し感慨無量の気分になっているところです。二葉南元保育園の改築工事も順調に進んでいますし、二葉乳児院も建物を改築して10年以上経過した現在、壁などの老朽箇所を改装中です。二葉むさしが丘学園の建物改築も住民説明会や東京都における改築審査会が行われているところです。

建物のハード面の整備と事業のソフト面の整備の両面からの計画を立案しながら、いま大都市東京で求められる保育ニーズ、児童養護ニーズ、家族支援ニーズに着実に応えられる「社会福祉法人二葉保育園」でありたいと努力していく所存です。

そのためにも今後も多くの方々から「社会福祉法人二葉保育園」の事業を影日向に支えていただき、引き続き皆様からのご協力を得られますことを心からお願い申し上げます。よき新年をお迎えください。

社会福祉法人二葉保育園

常務理事 武藤 素明





「ただいま！」～二葉学園新園舎へ引っ越し

二葉学園 児童指導員 椎野草子

元気な声でスタートしました。11月2日、次々に各ホームから子ども達が集まり、新本園男子ホームの始まりです。住みなれた本園を後にしてから、早いものでもう一年。新しくなったお部屋に期待を膨らませながら、仮ホームでの日々を思いつつ、寂しさを感じながらの荷造りとなりました。

男子ホームは子ども8名、4つのホームから集まったメンバーで、初日は緊張している子もいました。新しい引き出しに洋服を入れ、新しいお布団を広げ、トイレやお風呂を探したら、早速リビングのソファでくつろぐ姿も。初めての一人部屋に喜ぶ子、服や

靴が入りきらずに苦戦する子、新しい毛布にくるまる子、それぞれに過ごした後は、みんなで食卓を囲んで「部屋会」を行いました。会では、部屋長を決めたり、部屋の目標やお約束を決めたりしました。緊張しながらも、全員がしっかり発言でき、目標を決める時には、「仲良しのホーム」、「1番きれいなホーム」、「楽しいホーム」など、多くの意見が出されました。

ホームの名前は、「アイリス」に決定。花言葉は、「優しい心」、「あなたを大切にします」、「吉報」です。優しい心でお互いを大切にし合えるホームを目指しています。素敵な知らせがたくさんきますように。



地域で体験できる喜び

二葉くすのき保育園 主任 町田とし江

子どもたちは幼児クラスになるといろいろな取り組みに参加します。春の『かに山探索』秋になると『バス遠足』『国立科学博物館見学』『いもほり』『牛舎見学』『消防署見学』と目白押しです。

調布に移転してから変わりなく毎年行っているさつまいも掘り。年中・年長児は30分位歩いたところの



農家(平田さん)を訪ねて、さつまいも掘りをさせていただいています。一人では掘れないほど大きいさつまいもを収穫してきます。持ち帰っておみやげに

したり、保育園の給食にもさつまいもを使った料理が並び、自分たちが掘ってきた喜びで食も進みます。(平田さんは1月の『新春のつどい』で獅子舞いをしてくださっている金子囃子連の一員です。)

また、年長児は一駅離れた所にある酪農家(小野さん)を訪ねます。住宅地で牛を飼う苦労話や乳牛のエサについて、牛の種類の話などを聞き、干し草を食べさせる体験もさせてもらいます。牛の大きさにびっくりして尻込みしながらのエサやり「たべた!」と喜んだり、子牛をみて「かわいい!」といいながら牛舎見学をさせてもらいます。

調布の地でいろいろな体験ができる環境があることを大事にし、五感を使い心も身体も成長して欲しいと願っています。

「あおぞら祭り」4年目を迎えて

二葉むさしが丘学園 児童指導員 金崎 慎太郎

東京都からの民間移譲を受け、「二葉むさしが丘学園」としてスタートしてから早いもので4年目を迎えました。あらためて思い返してみると、民間委譲当初よりは随分落ち着いてきたという実感があります。施設としては、まだまだ日々新たな問題に追われている毎日ですが、そのなかでも「二葉むさしが丘学園」の地域参加型行事



として、地域の方々をお招きして行う「あおぞら祭り」は毎年開催しております。地域の方々へも年を追うごとに浸透してきており、地域のお祭りとして定着

してきました。今年は、来年度本園改築工事が始まることもあり会場に特設のブースを設け、本園改築後の完成予想図を展示して説明を行いました。行事は年々、地域の方の参加数も増え、今年は地元の企業の方の参加、ボランティアとしての活動に加えて、市内の更生保護女性会の方々にも参加をしていただきました。

改築後の新園舎においては、地域交流を主たる目的とした体育館は継続的に貸し出しを行い、敷地の一部を利用した緑地（公園）も地域の方々の憩いの場として提供してゆく予定があります。これからも、地域の方々のご理解を得ながら、施設として貢献できることにもできるかぎり協力していきたいと思っております。

子どもたちに“仮園舎ならではの思い出”を

二葉南元保育園 主任 高橋 澄子

今、保育園は行事目白押しの季節を迎えています。仮園舎中だから出来ないのではなく、「四谷園舎ならではの思い出」に残る楽しい行事になるように工夫しながら取り組んでいます。

運動会は運動用品を避難車に乗せ、近くの公園やグラウンド等まで毎日子ども達と練習しに出かけました。必死で四ツ谷駅の交差点を渡りながら用品を運ぶ職員に『南元でしょ？引越したんだよね。うちの30歳すぎの孫が南元だったんだ。運動会懐かしいなあ。がんばってよ！』という近所に住むおじいちゃんからの温かい激励に、疲れも吹っ飛んでしまいました。

また近くの中学校では快く校庭や備品を貸し出して頂いたり、当日は保護者の方のつながりで地域の方々が汗だく

になりながらテント張りや片付けまでやってくださったり、地域の方々の支えあつての保育園だと心から感じました。

運動会当日は10月の記録的な30℃超えの日で、熱中症も心配されてヒヤヒヤ。慣れない広い校庭で大丈夫かなという大人の心配をよそに、子どもたちはどの競技も楽しみ、そして真剣なまなざしで取り組む姿。本当に感激しました。

これからも地域の皆様からのご協力のなかで、子どもたちが子どもらしく元気にのびのび成長していくのを見守っていきたいと思っています。



子どもたちに「生きる力」を

二葉乳児院 保育士 城間 繭子

二葉乳児院の小規模グループケア「くじらホーム」では、現在2歳から4歳の子どもたちが暮らしています。毎日笑ったり泣いたり、けんかしたり、友だちを想ったり。



日々を重ねるごとに、子どもたちにとって大切な場所になってきています。

今年4月から、くじらホームから一步外に出て、4歳になる子どもたちが電車に乗って幼稚園に通うことになりました。歩いて通園中、「おはよう！」と声をかけてくれる方、電車から見える風景や車内アナウンス、

保育者とのおしゃべり、駅ですれ違う会社へ向かう忙しそうなお友だちとのわくわくした気持ち。子どもたちにとっては不満もいっばいの外の世界ですが、自分の場所から一步踏み出せば、たくさんの出会いが待っていて、出会いが子どもたちを支えてくれる、輝かせてくれる、やりたいって気持ちを伸ばしてくれることを日々の生活から経験しています。

これから、子どもたちはここを巣立っていきます。ここで子どもたちが出会ったもの、感じた気持ち、全てが生きる力になり、そしてそれはこれからも続いていくんだよ、というメッセージが子どもたちに伝わればと思いつつ、毎日を大切に過ごしていきたいです。

加藤登紀子チャリティコンサート “子どもたちの輝かしい未来のために” 実施レポート



9月13日(金)、年明けから本格的に準備を進めてきた加藤登紀子チャリティコンサートが開催されました。スタッフ総数50名以上が社会福祉法人二葉保育園傘下の職員を中心に集い、1047名のお客様で会場は満員になりました。ロビーでは、二葉のそれぞれの事業所の様々な取り組みが展示され、わたしたちが日頃どのような想いをもって地域のなかで子どもやその家族に寄り添おうとしているのかも伝えられるように工夫しました。午後5時の開場と同時にすぐにお客様でロビーはあふれかえってしまい、1階はほぼ満席。2階もほとんどが埋まりました。この日まで準備をしてきた誰もが予想をはるかに超える観客の波に圧倒されながら、それぞれの持ち場でそれぞれが仕事をこなしている姿がとても印象深かったです。

午後6時30分。主催者である社会福祉法人二葉保育園理事長遠藤久江のオープニングスピーチからはじまり、その後、元気よく登場された加藤登紀子さんはオリジナル10曲を熱唱されました。お話では、今日のお弁当がこれまでのコンサートで用意されたお弁当の中で一番おいしかったという笑い話や、自身の子も3人が保育園で世話になった話、震災で父母を亡くした子どもの日記を読んで書き下した曲のエピソードまで、登紀子さんご自身の生き様がじんじん伝わってくるようなステージでした。また、歌詞一つひとつに込めた想い、そして瑞々しい歌声に初めて登紀子さんの歌を聴く若い世代も魅了されていました。わが子が生まれた日の父を想った曲「君がうまれたあの日」には多くの方が涙していました。こうしてコンサートは鳴りやまない拍手のなかで大盛況のうちに幕を閉じました。おかげさまで、このチャリティコンサートでは、2,383,379円の収益を集めることができました。収益は全額、二葉支援の会を通じて社会福祉法人二葉保育園改築プロジェクトに寄付されます。ご来場くださった皆様と後援団体はじめ、広報等でご協力頂きました皆様、そして加藤登紀子さんをはじめ株式会社トキコプランニングの皆様にご心から御礼申し上げます。(法人本部 事務局 百瀬圭吾)



便利なクレジットカードでの寄付を始めました！

社会福祉法人二葉保育園のホームページからお手続頂けます。

社会福祉法人二葉保育園では、施設の改築や子どもたちの養育、法人運営のサポートをするために「二葉支援の会」という後援会を運営し、ご支援下さる方から資金をお寄せ頂いております。同会に入会をご希望の方は、年会費5,000円をお振込の上、法人本部までご連絡下さい。また、ご寄付をいただけることも大歓迎です。ご理解とご支援を心よりお待ちしております。

※ 当法人への会費、寄付は社会福祉事業への寄付として寄付金控除の対象となり、確定申告の際に減税措置を受けられます。

郵便振替 ▶ 口座番号：00120-2-30321 口座名義：社会福祉法人二葉保育園

銀行振込 ▶ 三菱東京UFJ銀行 支店名：四谷支店 口座番号：普通0506208 口座名義：社会福祉法人二葉保育園 理事長 遠藤久江

クレジットカード ▶ 社会福祉法人二葉保育園ホームページよりお手続頂けるようになっております。

社会福祉法人 二葉保育園 概要

法人本部

所在地：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地
TEL:03-3341-1205 / FAX:03-5368-1969
設立：1900年(明治33年)
理事長：遠藤久江
常務理事：武藤素明
理事：河津英彦、網野武博、押切重洋、福田敏朗
監事：園武友、乾川日出夫

二葉乳児院

院長 都留和光
児童定員40名 職員51名
住所：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地
TEL:03-3359-4578 / FAX:03-3359-4596

二葉学園

統括園長 武藤素明 園長 小倉要
児童定員52名 職員51名
住所 本園：
〒182-0035 東京都調布市上石原2-17-7
TEL:042-482-2578/FAX:042-480-5200

二葉南元保育園

園長 工藤有子
児童定員61名 職員25名
住所(仮園舎・四ツ谷園舎)：
〒160-0003 東京都新宿区本塩町2
TEL:03-3351-3819/FAX:03-3351-3819

二葉くすのき保育園

園長 八木澤真理子
児童定員100名 職員35名
住所：〒182-0022 東京都調布市国領町3-8-15
都営くすのきアパート1号
TEL:042-487-8309/FAX:042-487-8309

二葉むさしが丘学園

統括園長 武藤素明 園長 黒田邦夫
児童定員66名(グループホーム6名含む)
職員51名
住所 本園：
〒187-0011 東京都小平市鈴木町1-62-1
TEL:042-344-9911/FAX:042-345-7836